日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第3号　2006. 1. 1

CONTENTS

会長あいさつ …… 2
県知事メッセージ …… 3
東京会会長挨拶 …… 4
埼玉県会の歩み …… 5
事業報告 …… 6〜7
事務局だより …… 8〜9
会員コーナー …… 10〜11
県会業務推薦コーナー …… 12
名簿 …… 13〜15
編集後記 …… 16

会 長 あ い さ つ

日本公認会計士協会
埼玉県会 会長
熊 木 雄 太 郎

新年明けましておめでとうございます。平成１８年を迎え、埼玉県会の会員の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。私も早、３年任期の最終年を迎えることになりましたが、副会長、幹事の方々の御協力により、会務運営は順調に推移することが出来ましたことに、感謝すると共に安堵しております。

時代は、バブル経済崩壊後の不況と景気回復の兆しの中で、平成１７年６月、新「会社法」が制定され、会社法の「現代化」とのことですが、その改革の眼目は「規制緩和」と「情報公開」であり企業の社会的責任が強調された「現代化」の中身であると思います。

この様な環境の中で、公認会計士業界も昨年、法改正が行なわれ、公認会計士の社会的責任が一層強調され、監査業務全般についても一層の改革が求められております。

さて、埼玉県会は、地区会の役割の第一として、地域に密着した関係諸団体（公官庁を含む）よりの推薦依頼に対する対応に万全を期しております。

昨年もさいたま市及び川越市の包括外部監査人、埼玉県埋蔵文化財調査事業財団等々の外部監査人、指定管理者候補の選定委員、中小企業再生支援協議会の専門委員等の推薦にも対応致しました。

第二の役割として、会員相互の親睦と研鑽の場としての充実を図っており、親睦では当面ゴルフを隔月、研修は月１回を原則として実施しております。

親睦会や研修会に参加して頂くことは、お互顔見知りとなり、信頼関係も深まり推薦依頼などの時に気安く連絡が出来ることになりますので、県会行事には是非参加して下さい。

「地区会在住会員」制度も出来、地域において「団体の顔」として事務所の存在は益々重要性を増してきました。

埼玉県会では、現在の事務所では手狭であり、ＣＳ放送の研修や交通の利便性を考え、大宮駅西口のソニックシティビルの一室（３５坪）に移転することになりました。県会事務所を中心に地区会活動を通じて、お互いに知り合い信頼関係を築き、我々の業界が地域社会に貢献できればと思います。

任期は後１年ですが、県会運営に積極的に取り組みますので、会員の皆様方の暖かい御指導、御協力をお願い致します。

新事務所入居予定の大宮ソニックシティビル

ゆとりとチャンスの埼玉づくり
―埼玉が躍動する未来に向けて―

埼玉県知事
上　田　　清　司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに平成18年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

目まぐるしく変化する社会経済情勢の中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。専門知識を駆使し、社会の要請に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

さて、今年も、目に見える目標を掲げ、スピード感を持って、仕事を徹底的にやり抜いてまいります。

まず、治安についてですが、残念ながら、日本が世界に誇る「安全神話」が崩壊しました。

このため、県では、警察官の増員など警察力の強化をはじめ、巡回事業者の皆様との防犯協定の締結や防犯活動グループの支援に取り組んでおります。

その結果、検挙率も上昇し、刑法犯の認知件数も減少傾向に転じるなど治安の回復に向けて大きな一歩を踏み出しました。私は、この良い流れをさらに加速させていくため、警察や地域、企業の皆様とスクラムを組んで治安対策に全力を傾けていきます。

埼玉友好士業協議会にて上田県知事とともに

また、教育においては、不登校や学級崩壊など問題を抱えています。私は、「確かな学力」、「体力」、「社会規範」を身につけさせることが重要だと考えています。

そのため、全ての公立の小・中学校で、この3つの目標を達成する取組を実施しています。引き続き、教育委員会には、「埼玉から日本の教育は変わった」といわれるような教育改革に取り組んでいただきたいと思います。

さて、日本の人口減少時代が到来しますが、埼玉県は、しばらくの間は人口増が続くと予想されています。高齢化も進みますが、県民の平均年齢は、全国第2位の若さであります。今こそ、来るべき将来に備え、埼玉が飛躍する礎を築かなければならないと思います。

こうした中、私は、埼玉の将来像として埼玉グランドデザインを明らかにいたしました。

その1つ目は、チャンスにあふれ、誰もが夢を持てる「元気チャレンジ　埼玉」です。2つ目は、住みやすく、環境にやさしい「ゆとりの田園都市　埼玉」です。3つ目は、誰もが安心して暮らせる「安心・安全　埼玉」です。

この「埼玉の将来像」を一言で表しますと「ゆとりとチャンスの埼玉」です。私は、その実現に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げて、年頭のごあいさつといたします。

年頭のご挨拶

日本公認会計士協会
東京会　会長
酒井　繁

新年明けましておめでとうございます。

平成18年の新春を迎え、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

埼玉県会の会員の皆様には、日頃より、日本公認会計士協会東京会の活動に、温かなご支援、ご協力を賜わり、衷心より深く感謝申し上げます。

今年の干支は丙戌(ひのえいぬ)。「丙」は陰陽五行で「火」性の「陽」に当たり、灼熱・躍動のエネルギー、夏を象徴する年であります。

昨年下半期の日本経済は、9月衆院選挙の与党大勝を受け、さらなる構造改革への加速期待が高まって、中長期的には回復への道筋が見えて来た様に思われます。また、原油価格高騰にもかかわらず、日本経済の外部環境は比較的良好の様で、日本株の上昇傾向にもそれが表われていると見ております。

一方、地域経済では、その波及効果が手放しで安心できる局面にまでは至っていない様であります。ちなみに、埼玉県下の経済情勢は、「全体として緩やかな回復の動きが続いているものの、生産活動は弱含みで、企業の景気感は厳しい」との見方の様ですが、ここは干支・丙戌にあやかって、踏ん張り所ではないでしょうか。

さて、わが公認会計士業界を顧みれば、昨年は、藤沼亜起会長声明「公認会計監査の信頼性の回復に向けて(平成17年10月25日)」に見られる様に、カネボウの粉飾決算をはじめ一昨年からの有価証券報告書の虚偽記載事件等会計士不祥事を巡って、公認会計士監査に対する社会の信頼性は揺らぎ、厳しい一年でありました。

今年こそは、公認会計士法に定める「社会的使命」の実践に精励し、一日も早い社会の信頼性確保に努め、その礎を確固たる名声へと変えていきたいものであります。

ところで、昨年10月13日に栃木県会の皆様の絶大なるご協力により、第34回公認会計士フォーラム栃木大会が盛大に開催され、当大会において、東京会会長として会務報告をさせて戴きました。

この報告は会長就任が任期半ばを迎え、会務運営の道程を「平成17年度、五合目から展望して」と題し、その骨子は「東京会執行部の四柱」として、①本部との連携強化、②執行部機構等の拡充強化、③地区会活性化推進の強化、④事務局体制の強化、「平成17年度の重点施策」として、①会計プロフェッションとしての業務拡充に資する対策の検討、②地区会在住会員制度の実行、③ブロック会議の改革、④時代の要請に適宜対応した調査研究の推進、⑤定期出版物の選定・充実と出版体制の確立、⑥合理的かつ効率的な予算編成及び適切な予算執行等を、また、東京会会長直轄PTよりの中間(試案)報告書「リスク・アプローチによる監査の手引」、「会計参与の行為規範(案)」等の協会本部提出、公開草案「綱紀事業処理体制等再構築要綱案」に対する意見書提出等々についても報告をさせて戴きました。

加えて、協会本部で検討が進んでおります「協会の組織・ガバナンス改革」の機関構成、支部機構、会長等選出方法、事務局体制、役員選出方法等の各々について、東京会会長としての基本的な考えを取りまとめて協会本部に提出した旨、特に支部機構検討作業部会提案の「東京会分論」には、東京会活動実態を過小視した机上論であるとして反対論を唱えていること、さらに歴代の東京会会長が過去幾度となく協会本部に建議している「東京会会長の本部における位置付け」問題は、最大の関心をもって地位見直しを強く主張している点を明らかにさせて戴きました。

本年も各副会長の一層のご協力の下に、会員ニーズに即した諸施策の迅速かつ具体化に向けて、誠心誠意身を挺して会務運営に努める所存であります。埼玉県会の皆様の一層のご叱正とお導きをお願い申し上げます。

最後に、県会事務所の増床移転構想に象徴されます様に、埼玉県会及び会員の皆様の弥栄をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

埼玉県会の歩み

日本公認会計士協会
埼玉県会　第13代会長
山本　清次

1.私が会長のころ

私が会長を務めた平成元年から3年にかけての前後は昭和63年に証取法等の改正、平成2年に商法等の改正、平成3年に監査基準等の改訂、等々あり協会に於いても昭和62年に第13回世界会計士会議東京大会が開催され、平成6年には会員数も1万人に達した。企業の海外進出も活発化し我々公認会計士の海外往査も定期的に始まり最も張りのあった時期でした。

我が埼玉県会に於いては平成元年10月25日にブロック会議が秩父市で開催され講師に俳句の金子兜太氏を招き「俳句による国際化とコンピュータ」を演題として、実に世の流れ好く汲みとった面白く楽しいものでした。当時の協会長は山上一夫先生、東京会会長は川島正夫先生であり、川島先生は御自身で創業したコンピュータ会社、P.C.Aを上場された逸材であり、何かと感化されたものです。一面、経済の拡大と国際化に伴い粉飾事件も跡を絶たず会計士自身も自律自戒を迫られた時期でした。私自身も平成6年には協会の紀律委員長として事件処理に当たり、10年振りで紀律関係事例集を委員の協力で改訂編集し会員に配布したのも平成6年7月でした。また、公共機関に於いても公費の不適正支出が問題化され始め地方自治体の監査機能の充実強化が急務となり、自己チェックの必要性が強調され始めました。平成9年に外部監査制度の導入が地方自治体法の改正により一拠に決まったのも、この様な背景があったからです。

2.我が県会と行政監査

我が埼玉県に於いても時流の反応は早く県議会に於いては県の公共事業の予算の編成と執行に自己チェックが必要不可欠であるとの認識から、私に代表監査委員の就任を要請してきたのです。平成8年1月早々、中川副知事の訪問を受け県の仕事に協力してくれとのことでした。私は協会の紀律委員長の経験から地方自治体に於て不適正支出の問題が発生しつつあることを感知していたので、条件付きで引受ける事にしました。その条件とは①公認会計士の仕事を続けながら公共機関の監査に当たる。②公認会計士の王道を堅持して不偏不党で監査に従事する。③正当な意見が受け入れられない場合は直ちに退任する。と言うものでした。が、全面的に受け入れられ、平成8年3月から2期8年を努める事になったのです。仕事は先ず民間企業と公営企業を比較しながら公営企業は予算を如何に有効適切に無駄無く使うかです。第一に予算の執行に当たっての入札制度の改善です。競争入札制度の徹底です。この制度は過去の慣習を真の競争入札制度へ変えるという大変な仕事でした。昨今は道路公団等のことで一般にも周知の事となりましたが当時が改善の始まりであったと思います。公営企業は多方面にありますが在庫や人事管理を始めとして民間の優秀企業と比較し改善方法を具体的に監査報告書で指摘し知事へ提言し周知徹底を計ったのです。その後平成11年からは外部監査人制度が施行され、公営企業体にも広く公認会計士が登用される様になりましたが、取りまく環境はエンロンからカネボウ事件と油断を許さぬ時です。各自、己を律して研鑽し李下に冠を正さず王道を進まれん事をお願い致します。

平成16年度　事業報告

（H16.4.1～H17.3.31）

1.　会員及び準会員数（平成17年3月31日現在）

会員	367名	（内監査法人1社）
準会員数	81名	
合計	448名	
在住会員	7名	
物故会員	帆足 興之 殿（平成16年 4月19日）、	松縄　勇 殿（平成16年11月18日）
	井橋 光三 殿（平成16年12月 8日）、	荻野 春吉 殿（平成17年 2月23日）

2.　事業報告（及び活動報告）

平成16年
- 4月 9日（金）正副会長会、埼玉県教育局と打合せ、勉強会（NPO法人の会計と実務）
- 4月24日（土）埼玉県会懇親ゴルフ大会
- 4月25日（日）帆足興之会員通夜
- 5月14日（金）勉強会（中堅・中小企業の事業承継対策）埼玉県創業ベンチャー支援センターとの会合
- 5月25日（火）定期総会の打合せ
- 6月 4日（金）東京会総会
- 6月11日（金）勉強会（業績不振会社に対する債権の評価及び株式の評価）
- 6月16日（水）埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
- 6月22日（火）平成15年度監事監査、正副会長会
- 7月 6日（火）正副会長会
- 7月10日（土）役員会、総会、研修会、懇親会
- 7月21日（水）埼玉友好士業協議会第1回幹事会、正副会長会
- 7月28日（水）本部役員会
- 7月30日（金）東京会地区会長会議
- 8月 2日（月）埼玉県指定出資法人に関する外部監査についての打合せ（行政改革局）
- 8月20日（金）常任幹事会
- 8月30日（月）埼玉県会懇親ゴルフ大会
- 9月10日（金）勉強会（デットエクイティスワップをめぐる会計・税務の処理）
- 9月16日（木）国立大学法人財産評価委員会
- 9月22日（水）東京会会長との懇談会
- 10月 6日（水）9県会長会議
- 10月 7日（木）第33回ブロック会議
- 10月 8日（金）親睦ゴルフコンペ
- 10月13日（水）埼玉友好士業協議会第2回幹事会
- 10月14日（木）勉強会（自己株式等の資本取引にかかわる税制について）
- 10月20日（水）国立大学法人財産評価委員会
- 11月 2日（火）中小企業金融懇話会、広報編集会議
- 11月 5日（金）県会ふれあい募金より日本赤十字社（新潟県中越地震災害義援金）に寄附
- 11月 9日（火）埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会
- 11月12日（金）勉強会（公認会計士のための会社更生法の財産評定等の基礎知識）
- 11月13日（土）暮らしと事業のよろず相談会
- 11月15日（月）広報編集会議
- 11月22日（月）松縄勇会員通夜
- 11月27日（土）第1回巡回研修会川越大会
- 12月15日（水）埼玉県学事課に研修会の講師を依頼
- 12月18日（土）常任幹事会、研修会、忘年会

平成17年
- 1月13日（木）CPE推進全体会議
- 1月17日（月）東京会役員会
- 2月 3日（木）常任幹事会、研修会
- 2月 9日（水）埼玉県出納局と打合せ
- 2月18日（金）埼玉県友好士業協議会定例会・懇親会
- 2月26日（土）荻野春吉会員通夜
- 3月18日（金）東京会役員会
- 3月23日（水）士業協会等と知事との意見交換会
- 3月24日（木）埼玉県会親睦ゴルフ会打合せ
- 3月25日（金）埼玉県中小企業再生支援協議会メンバー打合せ、宅建講習会講師打合せ
- 3月28日（月）埼玉県会親睦ゴルフ会

7月9日研修会（会社法制の現代化について）

平成17年度　中間事業報告　（H17.4.1～H17.11.30）

1. 会員及び準会員数（平成17年10月31日現在）

会員数	379名　（内監査法人1社）
準会員数	68名
合計	447名
在住会員	23名
物故会員	八木 壽三郎 殿（平成17年6月19日）

2. 事業報告（及び活動報告）

平成17年
4月 8日（金） 勉強会（公認会計士が業務上留意すべき情報セキュリティ）
4月25日（月） 埼玉県中小企業再生支援協議会第１回全体会議
5月31日（火） 正副会長会
6月 4日（土） 常任幹事会
6月 8日（水） 東京会定期総会
6月10日（金） 監事監査、勉強会（企業結合会計のポイントについて）
6月15日（水） 国立大学財産評価委員会
6月27日（月） 正副会長会
7月 9日（土） 役員会、定期総会、研修会（会社法制の現代化について）、懇親会
7月14日（木） 埼玉友好士業協議会幹事会、懇親会
7月29日（金） 東京会地区会長会議
7月30日（土） 埼玉県会親睦ゴルフ会
8月24日（水） 緊急常任幹事会
8月28日（日） 埼玉県会親睦ゴルフ会
9月 5日（月） プレ地方協議会（司法支援センター）
9月 9日（金） 勉強会（株式会社の計算、組織再編）
9月12日（月） 埼玉友好士業協議会幹事会、正副会長会
9月15日（木） 東京会（臨時）役員会
9月22日（木） 正副会長会
10月 1日（土） 第２回巡回研修会川越大会（中小企業の会計に関する指針について）、懇親会
10月 6日（木） 正副会長会、広報編集会議
10月12日（水） 東京会９県会会長会議
10月13日（木） 東京会公認会計士フォーラム栃木大会
10月21日（金） さいたま市包括外部監査人の公募について、さいたま市担当者と面談
11月10日（木） 埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会
11月10日（木） 埼玉県中小企業再生支援協議会第2回全体会議
11月11日（金） 川越市包括外部監査人の公募について、川越市担当者と面談、推薦委員会
11月13日（日） 埼玉友好士業協議会親睦ハイキング
11月26日（土） ３県（新潟・群馬・埼玉）合同研修会、懇親会
11月30日（水） 境界問題相談センター埼玉設立記念式典

7月9日 役員会

7月9日 定期総会 会長挨拶・説明

総務

宮原　敏夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

熊木会長を中心に平成17年度の県会運営も順調に推移しております。会員の皆様には、日頃よりのご協力に感謝申し上げます。

さて、皆様ご存知の通り私どもの業界は、公認会計士法改正以後、様々な法律改正、基準の見直し等々により、公認会計士制度そのものが大きく変貌しつつある状況です。

その様な状況の中で、協会本部は藤沼会長を中心に、新たな協会の「かたち」を求めて、協会ガバナンス改革に取り組んでおります。協会ガバナンス改革は当然、地域会・地区会の活動、組織にも大きな影響をもたらすものと考えられます。実際に、ガバナンスのあり方として藤沼会長の考えは「協会本部と地域会活動との連携が強く、また地域会の特性を尊重する組織であること」を強調しております。埼玉県会は、会長方針に従って研修、親睦を中心に充実した会務が行われており、平成17年度中には県会事務所の移転も予定されています。

今後の問題として、県会の組織も環境変化に対応した、また地域特性を配慮した改革を検討する必要があると思います。県会運営につきまして、今後とも会員の皆様の一層のご協力で支援をよろしくお願い申し上げます。

業務

内田　俊二

新年明けましておめでとうございます。県会会員の皆様方には、ご健勝にて和やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の県会の業務の推薦状況は下記のとおりでございます。

- ●宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣（継続事業）
- ●民間的発想による会計実地制度改革検討委員会（埼玉県）アドバイザー（1名推薦）
- ●埼玉県道路公社監事（1名推薦）
- ●埼玉県埋蔵文化財調査事業団外部監査人（3名推薦）
- ●さいたま市包括外部監査人（公募）
- ●埼玉県住宅供給公社監事（1名推薦）
- ●埼玉県指定管理者候補者選定委員会委員（9名推薦）
- ●さいたま市食肉中央卸売市場の卸売業者の財務検査員（1名推薦）
- ●川越市包括外部監査人（1名推薦）

なお、県会としても東京会とは別に独自の推薦台帳の整備を進めておりますので希望者は事務局に申し出て頂ければ用紙を送付いたします。又、これからも各地方公共団体、さいたま地方裁判所等業務に関連する機関を表敬訪問し、業務のピーアール、拡大につとめたいと考えています。

終わりに、会員の皆様のご健勝を祈念いたしますと共に今後のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務局

池本　和子

明けましておめでとうございます。県会事務所移転の年、心新たにサービスの充実に一層努力して参りたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

研修

平山　孔嗣

新春のお慶びを申し上げます。

会員各位のCPEへのご理解誠にありがとうございます。定例研修会、月次勉強会、巡回研修会も定着し参加される会員の活発な取り組みに、裏方としても喜びに耐えません。手狭であった県会事務局も常設の研修会場付にバージョンアップし、より一層の充実した研修を企画する所存です。会計士は、厳しい社会情勢の中で個人個人身の処し方自体が問われております。その中で、資質の向上を高めることが職業的専門家としての義務であり、社会的信頼を高めることであると確信いたします。従来の年3回の定例研修、巡回研修、協会研修会のCDによる勉強会を基本といたしますが、適宜会員の皆様のご意見を反映させ、タイムリーなものにしてゆきたいと思います。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

平成17、18年度研修会　実績及び今後の予定

日付	テーマ	場所	参加者数	講師名	研修単位
H17/	【月次勉強会】公認会計士が業務上留意すべき情報セキュリティ	埼玉県会事務所	5名	集合研修 CD-ROM	2
6/10	【月次勉強会】企業結合会計のポイントについて	埼玉県会事務所	4名	集合研修 CD-ROM	2
7/9	【研修会】会社法制の現代化について	With You さいたま	75名	秋坂 朝則	2
9/9	【月次勉強会】株式会社の計算、組織再編	埼玉県会事務所	9名	集合研修 CD-ROM	2
10/1	【巡回研修会】中小企業の会計に関する指針について 第1部 講演／第2部 討論会	川越福祉センター	27名	長岡 勝美	4
11/26	【三県合同研修会】"今"最も求められているのは、関与先に"次"の収益を創造させられる会計人だ！－基準業務中心の今の会計実務は行政支援の道具でしか？－	NASPA ニューオータニ (新潟県湯沢町)	埼玉14名 新潟20名 群馬5名	浅野 浩	3
12/17	【研修会】企業再編の会計処理	大宮ソニックシティ		髙田 正昭	3
H18/2/3	【研修会】**協会組織ガバナンス改革**、学校法人会計	パレスホテル大宮		**藤沼 亜起** 県学事課	3
平成18年度予定					
4/14	【月次勉強会】	埼玉県会事務所		未　定	2
6/9	【月次勉強会】	埼玉県会事務所		未　定	2
7月	【研修会】	大宮ソニックシティ		未　定	未定

広報

櫻井　茂

新春のお慶びを申し上げます。

第3号発刊が出来ましたことは、ご多忙中にもかかわらず、執筆・写真提供を戴いた方々、原稿整理、発刊、発送等に携わられた方々のご協力によるものです。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。忘年会他の研修会・懇親会の写真も定期総会と同様でしたので紙面の関係で、総会時の写真を中心に掲載してあります。

親睦

荒井　伸夫

新春のお喜びを申し上げます。

「会員の皆様方の親睦をさらに深める為に」昨年の定期総会から親睦担当の副会長に就任いたしました。

昨年は、親睦ゴルフ・飲み会を実施しました。本年も皆様からご意見を頂きながら、健康的な楽しい企画をたてていきたいと思っています。皆様には、ぜひ参加されまして、会員相互の親睦を深めていただければ幸いです。

親睦ゴルフ会

温故知新

高柳　健一

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすっきりした新年をお迎えと拝察ご同慶に存じます。カネボウ事件などで暗雲たなびいた監査業界に訣別というと大袈裟ですが、私は昨年6月会計監査人を辞任して、全くフリーになりました。戦後からずーっと会社の内部監査人や監査役として内部監査、公認会計士として外部監査に従事してきたのですが、80歳から協会の年会費免除(業務会費は継続負担)、昨年8月から高齢による研修義務免除になり、一抹の寂しさを感じていました。千両役者が舞台で死ねたら本望だとか、死ぬまで現役で活躍と言うことを聞いていましたが問題は気持ちでなく健康ですね。

昨年9月10日日経の「私の履歴書」監査にキリンビールの佐藤安弘相談役の記事がありました。全国版につき読まれた方が多いと思いますが、公認会計士大野俊雄先生の監査は、非常に厳しく、容赦なく、質問される、監査の人が優秀だと、経理マンは鍛えられるとありました。
粉飾を見逃す先生に、爪の垢を煎じて飲んで貰いたいような気になりました。先生は私と同じ熊谷陸軍飛行学校を卒業した特操第一期生なので余計感銘したものです。

カネボウだけでなく過去山一証券、足銀、西部鉄道、ヤオハン、長銀、日債銀、など不正監査事件は後を絶たない。協会がチェック要員を増やすとか、内部告発を受け付ける窓口を考えるとか、六〇歳超の会計士早期退職制度を導入するとか色々打つ手を考えているようだが、私は前から監査報酬を企業から貰い利害関係なし(税務顧問料、コンサルタント料、など継続的な報酬は利害関係あり)はおかしいし、又会計監査人は個人には強制交代制があり監査法人にはないのはおかしい、監査法人の連帯責任に制限を設けるのはおかしい、粉飾事件が発覚したとき直ぐ全会員に知らせ過ちを繰り返さないような配慮を何故しないのか色々思っているが監査制度改善は、関係各位の真剣な取り組みに期待するほかない。

長い間監査に従事していると思いがけないことに出会う。ある時ヤクザらしき人より電話があった。「先生が署名捺印した武銀監査報告書が手元にあるがどうしましょうか」「あなたはどなた様」「あとでいう」「どうしてそれがお宅の手元にあるの、はっきり説明して」それっきり電話は切れてしまった。監査に手心とは違うがやはりこんなときには毅然たる態度が良かったと思い出している。

昨年七月法律第八六号として交付された会社法は一年半を超えない範囲内に施行される。ジャーナル八月号によれば早ければ本年四月一日より施行予定とのことである。会計監査人が大会社のみならず任意設置で子会社まで拡大されたり、会計参与が新設されたりする。私は新会社法にはもう参画する意志はないが監査の信頼性回復の一日も早きことを願う。一〇〇年以上も歴史のあるアメリカがエンロン事件による改革が早かった。日本は改革のスピードが遅い。

会員諸先生の健康で益々のご活躍を祈念する次第であります。

徒然なるままに

大谷　益代

最近、「会計士」が女性の職業として認知されつつ状況に感慨深いものがあります。テレビドラマの女性登場人物の職業として、また、私自身何人かの知り合いの娘さんに会計士になりたいと相談を受けました。

私が会計士を目指そうと思った二十数年前、母に男性の職業ではないかと反対されたことを覚えています。私が受かったときは、ちょうどバブルが始まったときだったので、就職先の監査法人は希望通りに決まりましたが、私の数年前に受かった女性会計士の先輩に言わせると、せっかく受かっても女性は就職先も少なく、苦労したとのことでした。その当時は外資系監査法人しか女性に門戸を開いていなかったと聞いています。

私自身受験時代に、専門学校に行っても、女性は一教室に数人、時には一人ということもよくありました。おのずと女性受験者同士、皆顔見知りになりました。年はもちろん違うし、学校も学年もばらばら。結婚している人もいれば、仕事をやめて頑張っている人もいたし、学生もいて、それぞれがいろいろな価値観や考え方を持っており、とてもよい刺激になりました。当時、女性で会計士になりたいなんて「変わり者」と周りから見られながらも、お互いに励ましあったことを覚えています。今でも何人かは連絡を取り合い、出張先で会ったり、研修会場で偶然出くわしたり、思わぬところで一緒になったりします。

女性ということで、監査法人に就職してからも、私に限らず、クライアントから「女性の会計士はお断りです。」と拒絶されたり、好奇の目で見られたりと、いろいろありました。私自身も始めていくクライアントでは必ず、結婚しているのですか、相手の職業は何ですかと決まって質問されました。

仕事に行くときの服装も、当時、女性用のスーツはリクルートと奥様用のきらびやかなものしかなく、探すのが大変でした。

会計士の仕事を始めてもう、二十年近くなります。女性として、結婚し、子供を産んで仕事を続けていくことはどんな仕事でも大変なことだと思います。私は幸いなことに、周りのたくさんの人に助けられて、何とかこの仕事を続けています。

いまや、女性の生き方は多種多様になっています。それぞれが仕事を通じて、自分で納得のいく生き方をしていければと思っています。

そして、時代も変わって、「だから女性は」という言葉は、よい意味でも悪い意味でも死語になりつつあります。これからは、女性会計士ではなく、会計士としてどうあるべきか考える時代だと思っています。

定期総会後の懇親会にて

埼玉県中小企業再生支援協議会の活動状況

中川　幹也

1. はじめに

私は平成17年4月から埼玉県中小企業再生支援協議会で窓口専門家業務に従事しています。日頃は、県会会長・副会長をはじめ多くの関係者のお世話になり感謝いたしております。限られた紙面の中ですが協議会の業務内容、活動状況等について略述いたします。

2. 中小企業再生支援協議会とは・・・

産業再生機構や整理回収機構(RCC)は主として大企業の再生支援を行っており新聞等で目にする機会がありますが、中小企業再生支援協議会については、その存在を知らない方も多いのではないでしょうか。

中小企業再生支援協議会は、中小企業の再生支援を目的に、産業活力再生特別措置法に基づき都道府県ごとに設置されている公正中立な公的機関です。

埼玉県中小企業再生支援協議会は、関東経済産業局の委託事業(受託機関:さいたま商工会議所)として設置され、同商工会議所内に相談スペースを設けて活動しています。協議会のスタッフは、支援業務責任者・窓口専門家(4名)・事務局から成り、又、構成団体としては、各市の商工会議所、地域金融機関、弁護士会・日本公認会計士協会・税理士会・中小企業診断協会の埼玉県会・埼玉県支部等があり協力して運営に当たっております。

3. 支援対象企業

経営上の問題を抱えているが、再生の可能性が高く、企業再生に意欲を持っている中小企業・借金の返済に苦しんでいるが営業利益は、計上している。又は、今後計上の見通しである。等の企業を対象としています。

4. 再生支援の仕組み・内容・公認会計士の役割

第一次対応と第二次対応があり、第一次対応は窓口専門家が電話又は面談で相談者に経営上の問題点の抽出・各種アドバイス等の経営相談を実施します。

第一次対応の段階で、協議会が再生可能で、再生支援が必要と判断した場合には第二次対応へと進み、対象企業ごとに個別支援チーム(公認会計士、中小企業診断士等)が結成され、事業面並びに財政面の双方から個々の企業の特性に合った再生計画の策定を支援します。具体的内容としては、実態貸借対照表の把握(財務デューディリジェンス)、事業改善計画の策定支援、金融支援案の策定と合意取り纏め等を行います。

こうした仕組みの中での公認会計士の役割は、上記第一次対応での窓口専門家としての的確な経営アドバイス、第二次対応での実態貸借対照表の把握と事業改善計画における予想B/S・P/L・C/F等の作成支援・妥当性の判断等が中心的業務になります。特に、第二次対応における財務デューディリジェンスは、再生計画策定の基礎となる重要な位置づけの職務であり公認会計士の正に独壇場とも言える業務分野です。

5. 結び

現在のところ、埼玉県における相談企業数(第一次対応)、再生計画策定支援件数(第二次対応)は共に全国トップクラスの実績を挙げています(詳細は中小企業庁ホームページを参照)。そして今般、金融面から協議会の支援活動を強化する為、「埼玉中小企業再生ファンド」(投資事業有限責任組合)が組成されたことにより、従来以上に企業再生が加速されることが予想されます。地域経済活性化の為に県会会員皆様のより一層のご協力をお願いする次第です。

日本公認会計士協会埼玉県会　平成17年度　役員名簿

(H17.10.31現在)

役員名	氏名	〒	事務所所在地	TEL	FAX
会　長	熊木 雄太郎	335-0016	戸田市下前1-13-15	048-443-3301	048-445-5792
副会長	宮原　敏夫	330-0063	さいたま市浦和区高砂2-13-19　K2ビル	048-834-1155	048-834-1156
〃	内田　俊二	330-0064	さいたま市浦和区岸町7-1-29	048-824-3322	048-824-3321
〃	櫻井　　茂	330-0071	さいたま市浦和区上木崎8-3-11	048-831-2188	048-831-2504
〃	平山　孔嗣	335-0002	蕨市塚越1-8-6	048-442-5590	048-442-6590
〃	荒井　伸夫	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-292-1	048-641-1392	048-647-0221
監　事	海野　亀男	336-0931	さいたま市緑区原山4-6-21	048-882-7891	048-887-9416
〃	猪股　世紀	340-0015	草加市高砂1-6-28-208	0489-22-5665	0489-29-0534
常任幹事	猪鼻　正彦	350-0036	川越市小仙波町1-5-1	0492-25-3700	0492-26-6358
〃	西川　正純	350-0063	川越市幸町1-7	0492-24-0320	0492-24-0636
〃	大谷　益世	360-0034	熊谷市万平町1-105-1	048-525-7146	048-520-3162
〃	佐々田 智子	330-0801	さいたま市大宮区土手町1-46-1-905	048-649-1360	048-649-1360
〃	小山　　彰	333-0848	川口市芝下2-3-11	048-266-2884	048-267-3095
幹　事	稲山 十四助	351-0014	朝霞市膝折3-1-9	048-461-0555	048-464-2400
〃	清水　秀雄	332-0034	川口市並木3-9-1	048-253-7166	048-255-0795
〃	村田　憲司	338-0003	さいたま市中央区本町東2-12-10	048-855-6686	048-833-0173
〃	貫井　正之	359-0025	所沢市上安松818-5	0429-46-0022	0429-46-0010
〃	塩原　修蔵	339-0067	さいたま市岩槻区西町2-1-2	048-756-1531	048-756-0784
〃	岡庭　武利	341-0044	三郷市戸ヶ崎2120-4　岡庭ビル202	0489-56-1715	0489-55-4228
〃	宮田　英生	362-0072	上尾市中妻3-17-12	048-772-9655	048-772-9656
〃	賀川 寛一郎	330-0054	さいたま市浦和区東岸町12-21	048-882-5962	048-882-5994
〃	石井　喜浩	360-0025	熊谷市大字太井2072	048-522-0988	048-522-8126
相談役	多田　広光	335-0002	蕨市塚越5-39-2	048-441-5029	048-441-5248
〃	堀　　一男	355-0021	東松山市神明町1-1-1	0493-22-0230	0493-22-1310
〃	塩原　春夫	339-0057	さいたま市岩槻区本町3-11-8	048-756-1531	048-756-0784
〃	藤野　廣治	360-0036	熊谷市桜木町2-35	0485-22-1831	0485-23-9172
〃	真下　和男	355-0028	東松山市箭弓町1-17-4	0493-22-2813	0493-22-2815
〃	山本　清次	344-0062	春日部市粕壁東1-16-14	048-754-5500	048-754-0521
〃	三間　邦夫	363-0021	桶川市泉2-19-7	048-787-2622	048-786-4513
〃	蛭川　俊也	360-0033	熊谷市曙町3-62-2	0485-25-0685	0485-22-5941
〃	吉島　一良	357-0044	飯能市川寺104-3	0429-74-4166	0429-74-4167
〃	坂本　隆信	338-0002	さいたま市中央区下落合3-15-18	048-831-7772	048-831-7794
埼玉県会事務所		330-0835	さいたま市大宮区北袋町1-103-1　中村ビル5F	048-644-9050	048-644-9054

埼玉県会地域別会員名簿（平成17年10月31日現在）

地区		正会員					準会員	会員数 正	準	計
南部地区	北本	池田 政治	勝田 重道	木村 繁男	松村 栄			4	0	4
	桶川	松岡 樹生	松田 正典	三間 邦夫(相)				3	0	3
	伊奈	町田 賢朗						1	0	1
	上尾	井上 克典	小松 修二	小宮山 榮	小宮山 司	佐藤 孝	西谷 秀治	13	1	14
		齋藤 敏雄	鈴木 稔巳	関口 長吉	田中 更二	橋村 義憲				
		三上 幹夫	宮田 英生(幹)	若松 謙維						
	さいたま市 大宮区	網野 誉	荒井 伸夫(副)	飯田 輝夫	飯塚 正貴	石井 隆	安達 岳夫	51	8	59
		石川 岩雄	伊藤 英明	井上 広明	入江 陽子	内田 和男	阿部 大亮			
		浦野 雄二	小河原 崇生	奥村 英昭	小野田 元	加藤 由久	枝 大樹			
		鎌田 竜彦	岸川 康太郎	木村 邦彦	工藤 道弘	久保 壮一郎	木島 紹史			
		栗原 由武	小島 洋太郎	後藤 徳彌	櫻井 均	佐々田智子(常)	西平 哲			
		佐渡 一雄	白濱 拓	鈴木 舞	関端 京夫	高橋 正勝	布施 知芳			
		田島 一郎	筑紫 徹	寺山 昌文	中島 茂喜	中森 弥生子	増田 亜希子			
		野口 惠美子	萩原 篤	浜田 陽介	原口 博	原田 泰人	山沢 邦明			
		日原 智彦	福田 厚	古屋 卓己	松澤 正義	松本 榮一				
		松本 茂	松本 正一郎	森 尚美	森田 亨	矢部 謙二				
		吉田 守一								
	北区	飯倉 哲成	石田 康洋	菅野 豊	崎谷 寿	中島 信	宇賀神 貞夫	6	2	8
		福岡 幸一					西川 英樹			
	西区	内山 義雄						1	0	1
	見沼区	大金 忠宏	奥原 主一	加沢 義晴	島田 紘一郎	深井 忠	大槁 誠	7	2	9
		松原 令枝	松本 直子				島田 拓			
	中央区	有賀 秀樹	猪俣 秀毅	垣沼 一郎	河合 明弘	河合 あゆみ	新江 孝	13	1	14
		小林 正和	小宮 一浩	坂本 隆信(相)	佐久間 佳之	高橋 昌男				
		原田 裕子	福家 弘行	村田 憲司(幹)						
	浦和区	石田 惠美	内田 俊二(副)	大山 博	賀川寛一郎(幹)	神本 昇	阿久津 聖	23	7	30
		齋藤 史郎	櫻井 茂(副)	鈴木 義夫	高柳 健一	竹井 光美	小林 啓孝			
		土屋 文実男	富田 吉昭	中桐 則昭	長島 良亮	中村 友理香	島村 英			
		保坂 圭作	柗平 智	宮城 由美子	宮原 敏夫(副)	村田 英孝	塚原 龍雄			
		矢野 豪士	山田 真哉	横山 一朗			松澤 智之			
							松縄 豊			
							村田 善次郎			
	桜区	小峰 利憲	関口 俊雄	土橋 正和				3	0	3
	緑区	海野 亀男(監)	梅谷 哲史	大石 勝	北原 英治	桐岡 弘幸	山口 和徳	9	1	10
		木暮 友喜	中川 幹也	吉田 俊行	渡邉 喜夫					
	南区	相場 俊夫	岩渕 均	奥角 仁	込田 彊	佐藤 賢治	伊東 知文	12	4	16
		佐分 紀夫	龍田 由理	都築 秀美	長谷川 孝至	前田 清澄	田中 建二			
		増田 一	松本 大明				田中 裕之			
							番家 薫			
	岩槻区	安齋 亮三	相原 甫二雄	岩波 一泰	塩原 修蔵(幹)	塩原 春夫(相)		7	0	7
		塩原 史子	田山 毅			(さいたま市 計)		(132	25	157)
	蕨	雨堤 正博	木下 英樹	小林 順一	多田 広光(相)	野田 光二	向田 隆義	6	1	7
		平山 孔嗣(副)								
	川口	青木 忠幸	磯貝 光一	勝長 祥	鎌田 融彦	小林 環	小山 敦	32	4	36
		小山 彰(常)	佐々木 武	佐瀬 俊道	佐藤 實	齋藤 潤一郎	岡田 亮介			
		齋藤 一将	櫻井 秀秋	清水 秀雄(幹)	新村 公剛	高野 千代治	下條 光裕			
		丹沢 好治	中込 眞次	中村 明弘	西浦 正和	野島 一男	信夫 修			
		日原 龍	藤野 廣治	増田 善久	眞木 和久	宮一 富士男				
		山野井 俊明	矢島 賢一	米田 正巳	森住 恵二	吉村 強				
		渡部 行光	高橋 守							
	鳩ヶ谷	根本 秀人						1	0	1
	草加	秋濱 政志	浅野 典久	伊藤 忠士	猪股 世紀(監)	猪股 宏之	糸田川 周	14	4	18
		飯塚 由明	大沢 裕	長内 温子	関根 敬子	谷 篤志	内倉 滋			
		中島 英男	堀野 暁	三根 健一	森原 哲也		鈴木 隆治			
							南 伸一			
	戸田	大村 雅司	小川 千恵子	熊木雄太郎(会)	杉本 清文	高橋 謙一	遠藤 英樹	7	1	8
		藤本 一夫	松本 英三郎							
	和光	石塚 兼也	齊藤 一也	堤 康之	永井 崇志	橋本 三喜男		7	0	7
		深澤 仁	谷内 守							
	朝霞	荒井 薫	稲山十四助(幹)	加藤 大吾	加屋野 究	高柳 尚視		10	0	10
		根津 光弘	長谷川 臣介	福田 武彦	宮野尾 幸裕	山本 直子				
	新座	今村 正宗	岡本 芳郎	春日 敏彦			村岡 欣典	3	2	5
							山北 文也			
	志木	赤尾 敬一郎	有賀 美典	岩間 晃一	上原 由夫	久保 隆	永井 裕太	7	1	8
		関本 享	三木 正志							
							南部地区 合計	240	39	279

※地域区分は、事務所所在地による

地区		正会員					準会員	会員数 正	準	計
西部地区	東松山	鳥海 隆雄	堀 一男(相)	真下 和男(相)				3	0	3
	坂戸	川村 義則	小池 一男	栁澤 享				3	0	3
	川越	安藤 隆允	阿部 軍喜	猪鼻 正彦(常)	猪鼻 嘉行	石山 豊	倉持 四郎	18	2	20
		大澤 三千雄	岡田 章	荻野 博司	佐久間 仁志	佐野 勝正	加茂 雄一			
		鈴木 悟	関口 智和	田中 宏	長岡 勝美	西川 一郎				
		西川 孝博	西川 正純(常)	堀江 英夫						
	富士見	河野上 浩司	森下 賢二				福田 政彦	2	1	3
	狭山	栗原 洋一	坂野 好邦	茂中 美喜夫	清水 善規	鈴木 康弘		10	0	10
		高栁 清	寺田 芳雄	中村 英明	久富 繁雄	宮川 惠一				
	所沢	上本 壽雄	柏谷 道正	久朗津 英夫	大東 幸司	斉藤 武司	菊池 真理	22	5	27
		酒井 敏彦	関 博之	田中 勝	高尾 賢	橘 宣洋	小林 一夫			
		近澤 優司	鶴藤 洋	貫井 正之(幹)	早坂 昇一	舟越 進	鈴木 春陽			
		本田 雄輔	町田 和宏	宮城 秀敏	森 巨樹	山口 雅弘	吉田 正之			
		山中 幸雄	川﨑 勝之				渡辺 智信			
	飯能	嶋田 昇	吉島 一良(相)	吉島 力良			池田 五郎	3	2	5
							森 和夫			
	入間	田中 清一	中村 透	牧 哲郎			赤池 直也	3	2	5
							中澤 康			
	毛呂山						新井 晶美	0	1	1
	日高						越智 一英	0	1	1
	鶴ヶ島	海老澤 敏夫	橋爪 和夫				増子 敦仁	2	1	3
	滑川	佐藤 正恒						1	0	1
	三芳						小林 大輔	0	1	1
							西部地区 合計	67	16	83
北部地区	熊谷	石井 喜浩(幹)	大谷 宏一	大谷 益世(常)	荻野 八郎	金井 千尋	森田 昌幸	12	1	13
		木本 英男	田代 充雄	能見 孟俊	萩原 進	蛭川 俊也(相)				
		本塚 雄一郎	明光監査法人							
	深谷	武田 哲	塚原 昭二					2	0	2
	鴻巣	井上 宣明	大塚 和恵	清水 正	中澤 隆		元氏 元	4	1	5
	吉見	木村 毅						1	0	1
	秩父	小泉 眞人	肥沼 秀司					2	0	2
	岡部	小林 喜一郎						1	0	1
	江南	福田 温夫						1	0	1
							北部地区 合計	23	2	25
東部地区	羽生	松本 猛						1	0	1
	加須	高野 勝良	原 稔					2	0	2
	久喜	向後 真徳	永田 勲					2	0	2
	蓮田	飯野 浩一	飯野 雪男	小川 進	田中 淳子			4	0	4
	春日部	磯山 昭一	尾池 辰義	尾花 淳	神足 勝彦	重岡 裕介	稲田 淳	10	4	14
		田中 彰治	生川 治	廣瀬 哲也	矢島 和彦	山本 清次(相)	池田 博行			
							酒井 雄一			
							渡邉 智裕			
	越谷	飯塚 岩男	薄井 賢治	清田 亮	田久保 武志	田部井 悦子	今市 哲則	15	5	20
		高野 悦雄	為ヶ谷 喜一郎	中村 甫尚	西谷 富士夫	長谷川 俊晴	長田 慶洋			
		星山 厚興	壬生 米秋	水嶋 正樹	森原 哲也	渡井 富志雄	関根 和雄			
							竹馬 将司			
							本田 幸一			
	三郷	岡庭 武利(幹)	今西 崇雄	富樫 信子	山下 勝矢			4	0	4
	八潮	福野 幸央					久保 勝裕	1	1	2
	吉川	野口 千春						1	0	1
	杉戸	駒﨑 泰生	松村 隆					1	0	1
	白岡	岡山 和愛	坂巻 仁志	山口 高志				3	0	3
	幸手	菅谷 君一						1	0	1
	宮代	中村 仁						1	0	1
	栗橋	山中 裕之						1	0	1
							東部地区 合計	47	10	57

在住地区会員					
石井 誠	遠藤 忠宏	太田 啓之	岡田 清	奥山 弘幸	
川口 宗夫	楠山 正典	久保 直生	黒澤 誠一	河野 幸久	
小島 昇	佐々木 直彦	佐竹 正幸	田中 伴一	對島 和也	
中村 元彦	野口 和弘	野崎 一彦	深谷 豊	舩山 卓三	
本間 利雄	宮島 博和	余語 直樹		(合計23名)	

埼玉県会合計(公開)	377	67	444
〃 (非公開)	2	1	3
埼玉県会総合計	379	68	447

*凡例 = (会):会長 (副):副会長 (常):常任幹事 (幹):幹事 (監):監事 (相):相談役

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

除夜の鐘を聞き、新しい年を迎え心が改まりゆったりとした「時の流れ」の中にいることを感じます。自然と昨年を振返り今年の行く末を思います。毎年そのようなことを何十年と繰り返してきたことでしょうか。

鴨長明は、「方丈記」で言っています。「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例(ためし)なし。世中(よのなか)にある人と栖(すみか)と、またかくのごとし。たましきの都のうちに、・・・・・・」と。

「悠久の時の流れ」を思うとき、河の流れは変わらないように見えるがそこに流れる水は、もとの水ではない。うたかた(沫雨、現在は、泡沫と記す)は、消えたり・生まれたり・同じ場所に長く留まっていない。と。

まさに今の「悠久の時の流れ」の中にも、同じことが繰り返され続けています。この時代という「悠久の時の流れ」の中で、埼玉県会熊木会長体制という「うたかたは」新段階に入るべく事務所を大宮ソニックシティビルに移して皆様のために大いに益することとなるでしょう。

最後になりましたが、皆様のご健康と、ご多幸をお祈り申し上げます。

櫻井　茂

めでたさも　中位なり　おらが春　　一茶

日本公認会計士協会　埼玉県会
〒330-0835
さいたま市大宮区北袋町1丁目103番地の1
中村ビル5F
TEL: 048-644-9050　FAX: 048-644-9054

埼玉県会 CPAニュース
発行人　：埼玉県会会長　熊木 雄太郎
編集人　：副会長広報担当　櫻井　茂
デザイン　：有限会社 デザイン企画610
写真提供　：熊木 雄太郎